

TP-805／ランドステーションPro.M

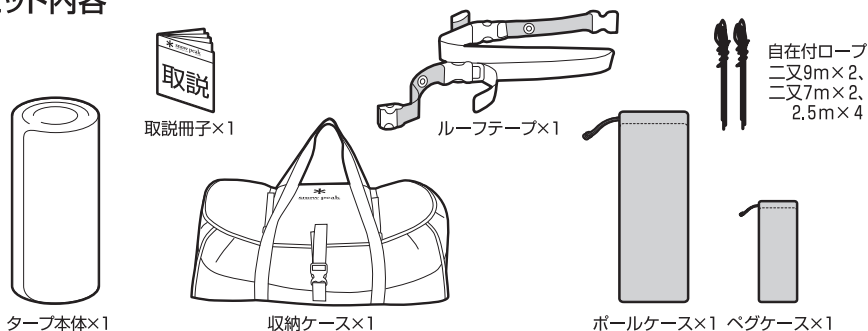
取扱説明書 ver.1.00



TP-805

このたびはスノーピーク製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この商品はキャンプ用タープとして作られています。永く安全にご使用いただくためにも必ずこの取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。製品は万全を期しておりますが、フィールドでご使用する前に組立、取扱い方法及び付属品の確認を実施されることをお勧めいたします。説明内容で理解できない点、疑問等及び製品に不具合が確認された際には、直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社までお問い合わせください。

■セット内容



- ☐ セット内容は一般的な条件下での設営を基本としたものです。基本的な設営にはタープ用ポール×4本、ベグ×最低26本が別途必要です。別記の推奨サイズをご参考の上、ご用意ください。また、ベグやロープ、自在は消耗品ですので常に予備を携帯する事をお勧めします。

初めてお使いになる前に

- ☐ 品質には万全を期しておりますが、お使いになる前に必ず試し張りをを行い、付属品や設営手順を確認してください。万一不具合があった場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。

■本品にはポール・ベグ・ハンマー等は含まれておりません。

- ☐ 基本的な設営にはタープ用ポール×4本、ベグ×最低26本が別途必要です。推奨サイズをご参考の上、ご用意ください。

- ☐ 基本ポールサイズ（稜線曲線部を185～200cmに設定）

ランドステーション Pro.M

●メインポール：210cm×2本

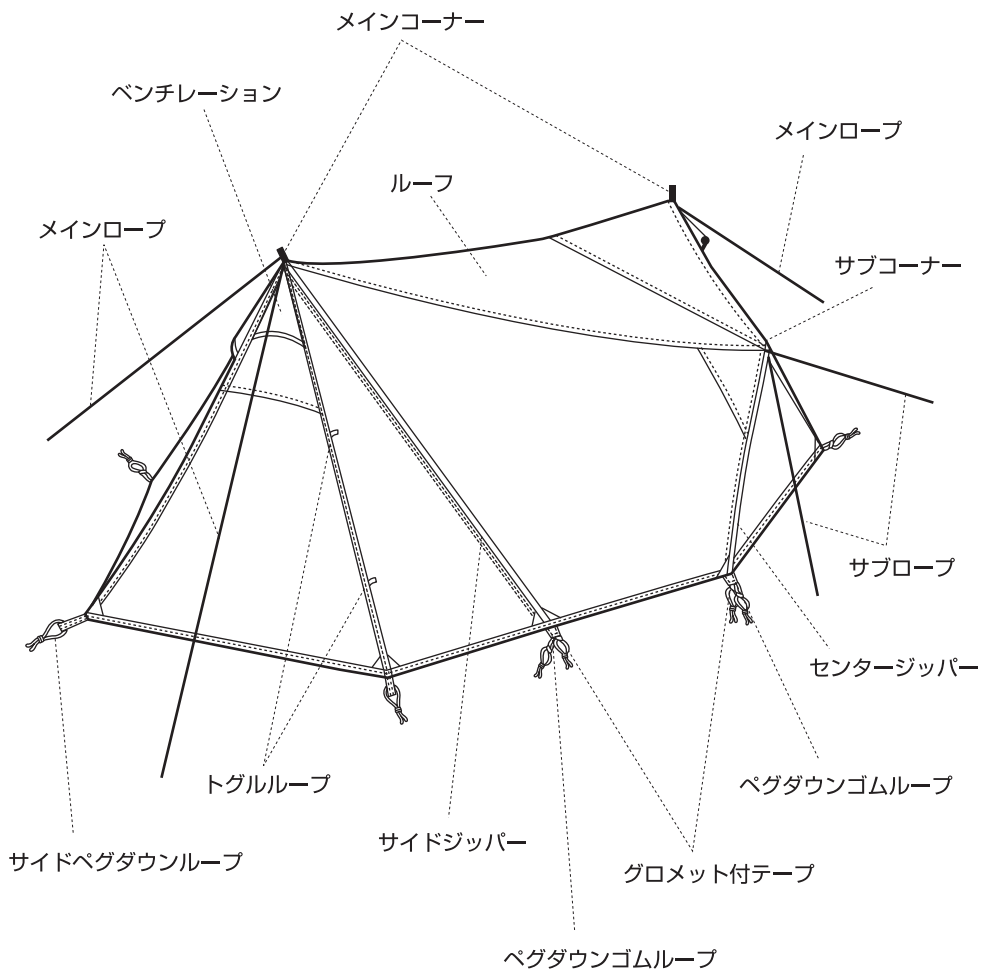
●サブポール：140cm×2本

（サブポールの長さ／本数は、設定アレンジによって変更します。）

- ☐ 推奨ベグサイズ

打ち込み長さ25cm以上

■部分名称



ご使用の前に

よく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。



危険

明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示しています。



警告

場合により重大な事故に至る行為を示しています。



注意

ケガや本体の破損、他の財産に損害を与える原因となる行為を示しています。



危険

明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示しています。

- ☐ このテントの素材は難燃性ではありません。タープの下では燃烧式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなど裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災の恐れがあり大変危険です。
- ☐ タープの下で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。



警告

場合により重大な事故に至る行為を示しています。

- ☐ 気象状況には常に細心の注意を払い、風の強い時や悪天候が予想される時は速やかにキャンプを中止して安全な場所へ避難してください。
- ☐ 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な出水などの恐れのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。

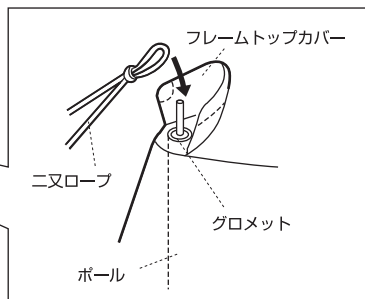
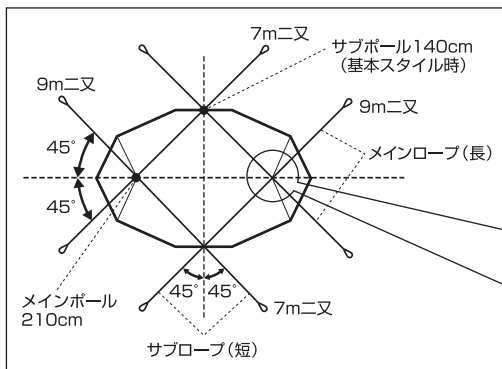


注意

ケガや本体の破損、他の財産に損害を与える原因となる行為を示しています。

- ☐ 本製品は常設用ではありません。
- ☐ 日差しによりタープの表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分にご注意ください。
- ☐ たき火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。火の粉を被り、生地に穴をあけてしまう場合があります。
- ☐ タープの設営・撤収の際は、風に飛ばされないようポールをしっかりと支え、ペグを確実に打ち込んでください。ポールの転倒による先端のハネ返りなどで思わぬ事故につながる恐れがありますので必ず周囲の安全を確認してください。
- ☐ ペグや張り綱でしっかりと固定してご使用ください。
- ☐ タープ素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起しますので、常設用として使用しないでください。

■ランドステーションの張り網／ポール取り付け



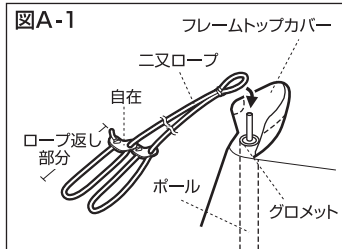
設営の手順

■設営・撤収・収納は以下の説明に従い繰り返し練習し、実際のキャンプに備えてください。
無理な設営・撤収は、本体やポールの破損、事故の原因になります。

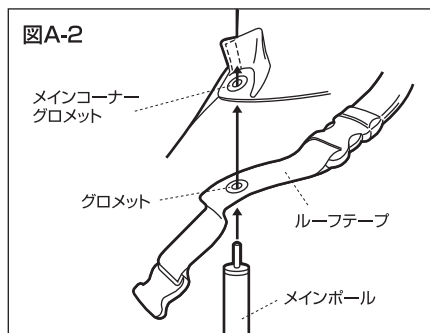
0) 設営は必ず2人以上で行ってください。

※**全てのファスナーを閉めた状態で行ってください。**

- 1) 本体を平らな場所に広げます。
- 2) メインポール先端をメインコーナーのグロメットに差し込み、その上からメイン用二又ロープを掛けます。
この時、ロープの返し部分は自在の位置を調節し、すべて同じ長さにしてください。〔図A-1〕

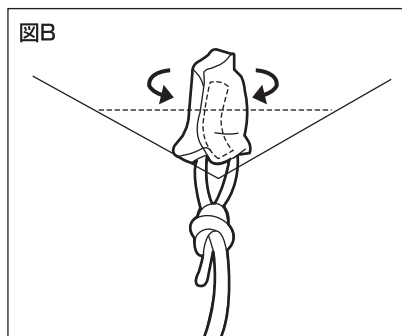


※付属のルーフテープを使用して、ランドステーション内に、別売のペンタイズ(SDI-001)／インナールーム(TP-512IR)／インナールームS(TP-712IR)を吊り下げる際は、ポール先端にルーフテープのグロメットを差し込んでから、メインコーナーのグロメットにポール先端を差し込んで設営してください。〔図A-2〕
(ルーフテープの活用方法は、9ページを参考にしてください。)

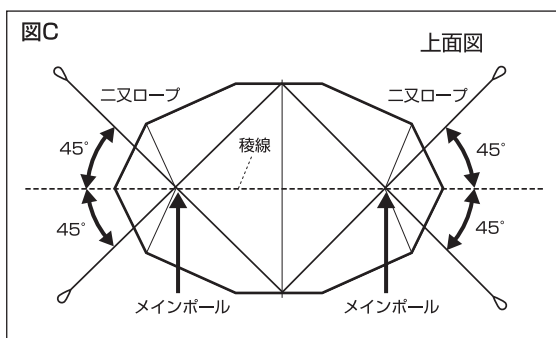


- 3) ロープを掛けた後、フレームトップカバーで、フレーム先端を覆うようにベルクロでしっかりと留めます。〔図B〕

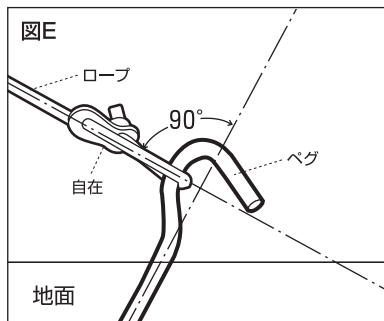
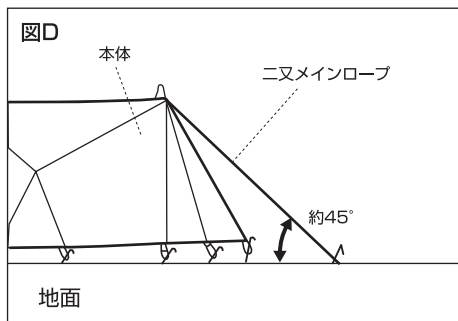
3) ロープを掛けた後、フレームトップカバーで、フレーム先端を覆うようにベルクロでしっかりと留めます。〔図B〕



4) 2本のメインポールを立ち上げ、ルーフの稜線に対して外側に二又ロープを引き広げ、メインポールを中心に左右それぞれ約45°に開いた位置にペグダウンします。〔図C〕



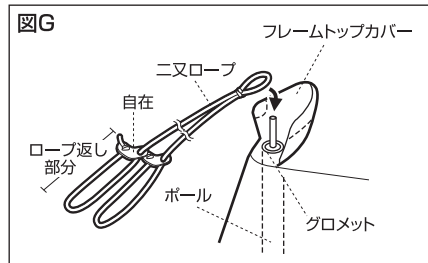
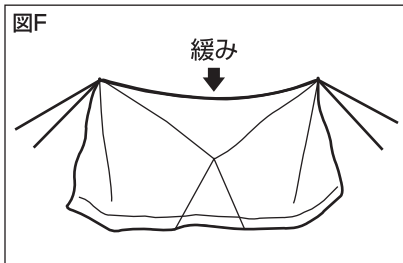
※それぞれのロープ間の角度が90°以上広い位置でペグダウンするとポールにテンションが伝わず、正しく設営する事ができなくなりますので注意してください。ペグダウンはタープからできるだけ遠くに行ってください。設営した時、ロープの角度が地面に対し約45°となるのが理想的なペグダウンの位置です。〔図D〕また、ペグを打ち込む角度はロープに対して90°になるようにペグダウンします。〔図E〕



5) ロープの自在の位置を調節し稜線部分を2割位緩ませた状態にします。

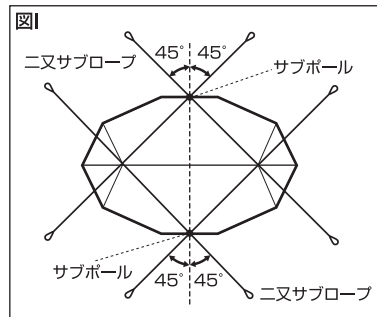
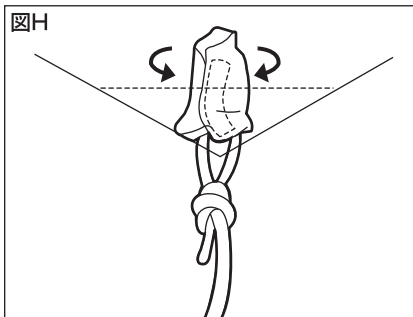
※この緩みが完成時の美しい曲線を作ります。〔図F〕

6) サブポール先端を、サブコーナーのグロメットに差し込み、その上からサブ用二又ロープを掛けます。この時、ロープの返し部分は自在の位置を調節し、すべて同じ長さにしてください。〔図G〕

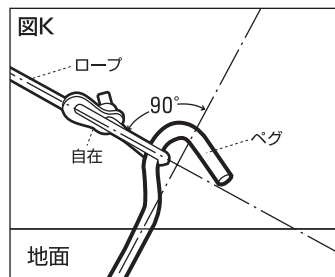
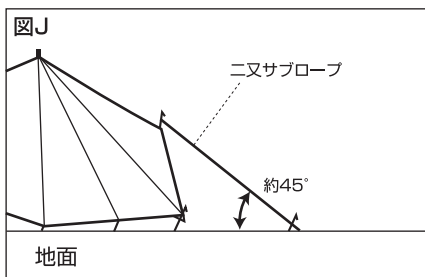


7) ロープを掛けた後、フレームトップカバーで、フレーム先端を覆うようにベルクロでしっかりと留めます。〔図H〕

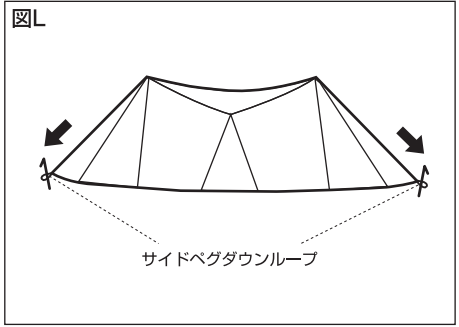
8) 2本のサブポールを立ち上げ、二又サブロープを引き広げ、サブポールを中心に左右それぞれに約45°に開いた位置にペグダウンします。〔図I〕



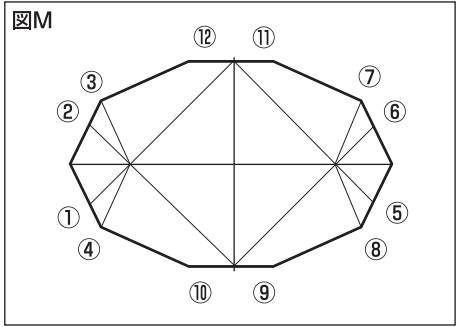
※それぞれのロープ間の角度が90°以上広い位置でペグダウンするとポールにテンションが伝わらず、正しく設営ができなくなりますので注意してください。ペグダウンはタープからできるだけ遠くに行ってください。設営した時、ロープの角度が地面に対し約45°となるのが理想的なペグダウンの位置です。〔図J〕また、ペグを打ち込む角度はロープに対して90°になるようにペグダウンします。〔図K〕



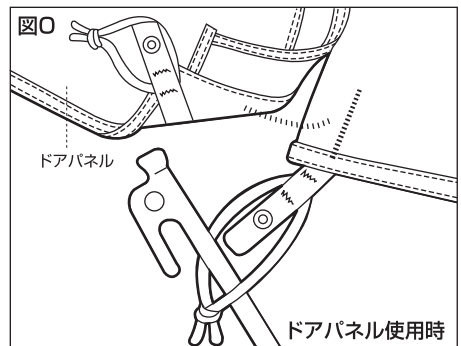
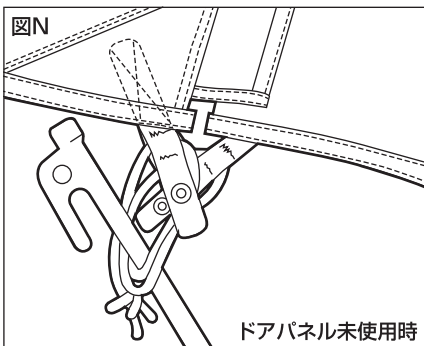
- 9) 両サイドペグダウンループを、稜線／メインボールの延長線上に引きながらペグダウンします。〔図L〕



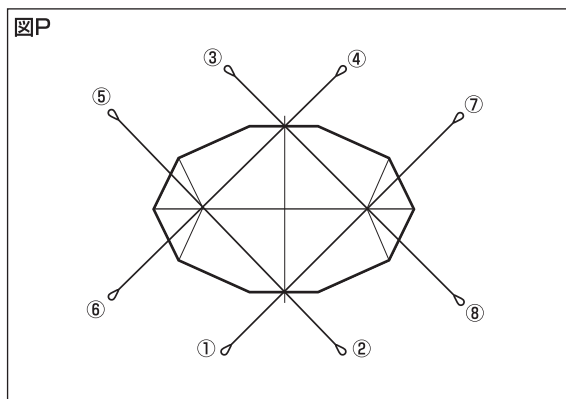
- 10) 他のペグダウンゴムループを番号順にペグダウンしていきます。〔図M〕
この時、各パネルがしわにならない事を確認しながら行ってください。



- ※ペグダウンループ③④⑦⑧⑨⑫は、2重のペグダウンループになっています。
ドアパネルとして使用しない時は、2重のペグダウンループを同時にペグダウンしてください。〔図N〕
ドアパネルとして使用する時は、ドアパネル側のペグダウンループは、ペグダウンしません。〔図O〕



11)最後にすべての張網ロープをもう一度、番号順に引き、仕上げます。〔図P〕



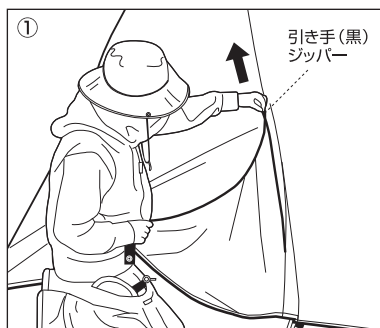
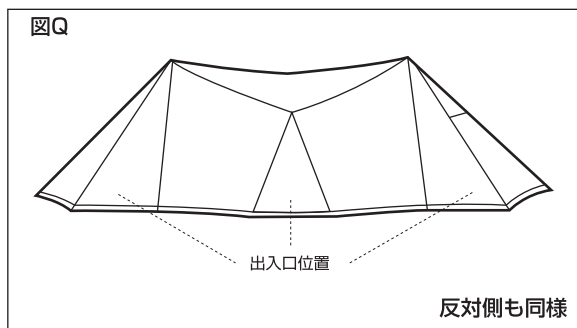
※ロープの引き過ぎにご注意ください。強く引きすぎている場合はその方向に大きなしわが発生します。しわの出ている方向のロープを緩めて、全体のテンションバランスを調整してください。

※本体が緩んだ状態やしわの入った状態で使用すると、風を大きく受けて倒れたり、雨が流れず溜まってしまうなど、大変危険です。

■出入口の作り方

基本出入口を最大で6ヶ所作ることができます。〔図Q〕

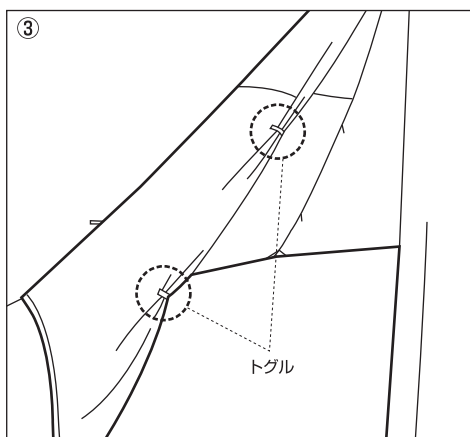
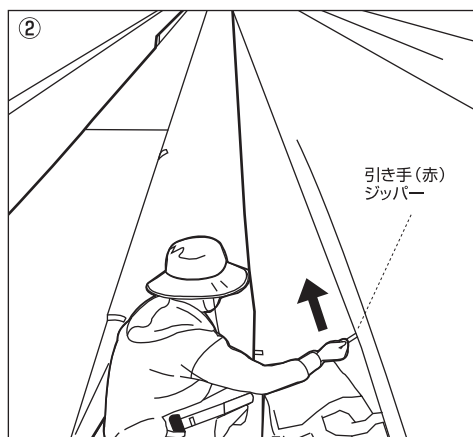
①出入口パネルのジッパー下部のベグダウンループを外し、外側から出入口パネルに付く引き手(黒)のジッパーを上まで開きます。



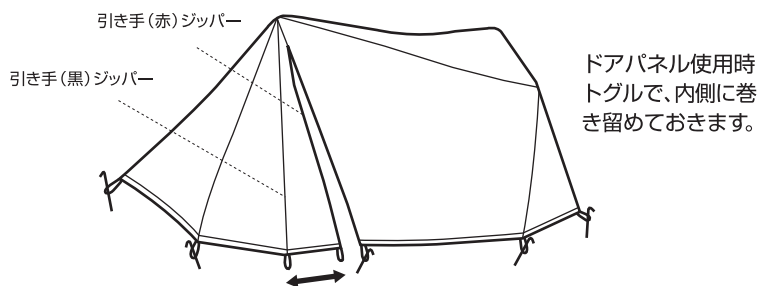
②次に現れる引き手(赤)のジッパーを上まで開きます。

③出入口パネルの全体をトグルで留めれば完成です。パネル開閉の際は、外側引き手(黒)のみの開閉で出入りすることができます。

※同様の方法で全6ヶ所の出入口パネルを作ることができます。



※ドアパネルとして使用する際、引き手(黒)のジッパーから、引き手(赤)のジッパーまでのパネルは、余分なパネルとなりますのでこの部分は、トグルで巻き留めて使用してください。

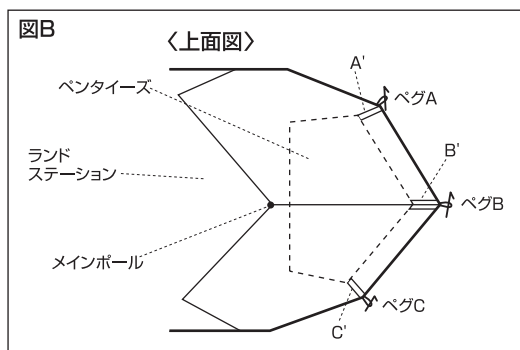
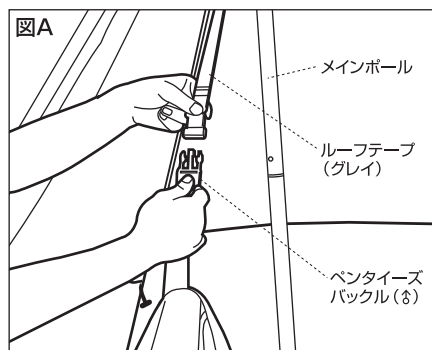


※尚、この余るパネルは、12ページのスタイルアレンジの際使用するパネルになります。

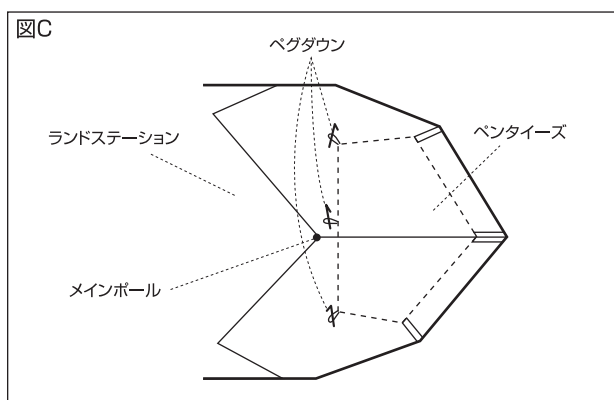
◆別売ペンタイーズ(SDI-001)の取り付け

1) 設営手順 2) で、メインポールに取り付けたルーフテープ(グレイ)に、ペンタイーズ、頂点にあるバックル(♂)テープを接続します。〔図A〕

2) メインポールを中心に、ペンタイーズをランドステーションのサイドにくるように、レイアウトして、ランドステーションペグA～Cにペンタイーズ背面部、A'～C' のペググループを引っ掛けて、バックルを調整してテンションをかけます。〔図B〕



3) ペンタイーズフロントコーナー2ヶ所とセンタージッパー下の1ヶ所をボトムにしわが出ないようにペグダウンします。〔図C〕



4) 最後に1) で接続したバックルテープでテンションをかけて完成。

■スタイルアレンジ

〈基本編〉 オールクローズできる基本セット(別売ポール210cm×2・140cm×2)を使用して、開放感のあるスタイルにできます。

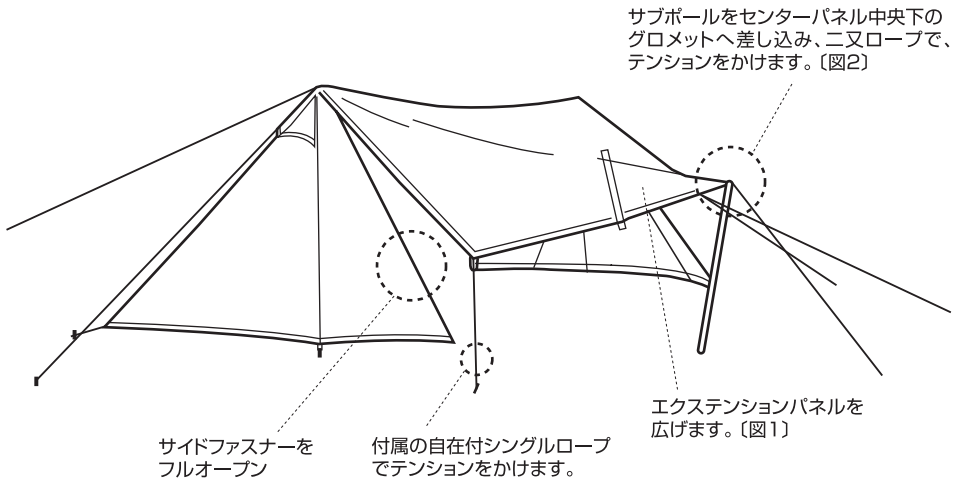


図1

外側から引き手(黒)のジッパーのみを上まで開き、内部のエクステンションパネルを広げます。
(※内側の引き手(赤)のジッパーは、閉めた状態)

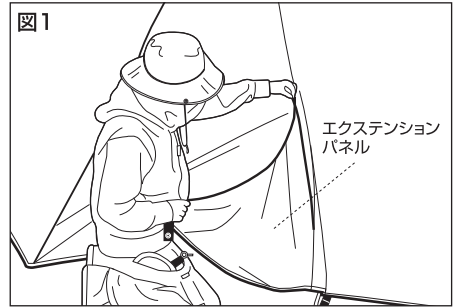
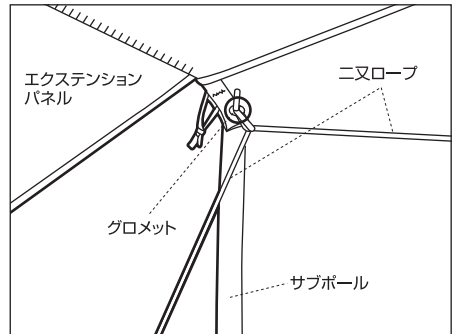


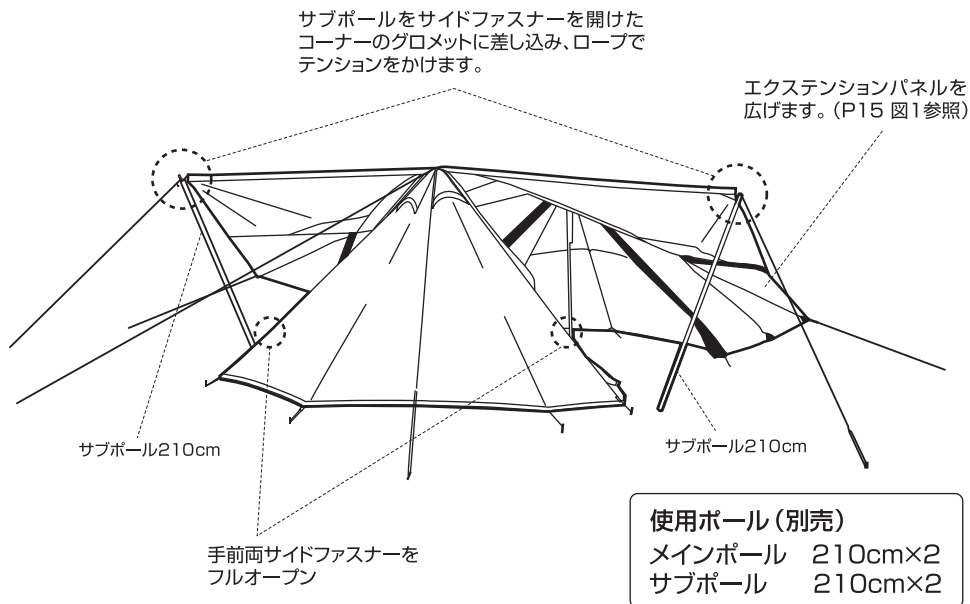
図2

サブポール先端を(図1)で広げたエクステンションパネルコーナーのグロメットに差し込み、二又ロープでテンションをかけます。

※この要領で、反対側も開放することができます
※他にも、各パネル下部に付くグロメットや、6ヶ所のファスナーの開閉、エクステンションパネルの活用で、様々なスタイルが楽しめます。



〈応用編〉 基本セットのサブポール140cmを長くしたり、サブポールの数を増やすことで、より様々なスタイルを楽しむことができます。その例をご紹介します。



※他にも、各パネル下部に付くグロメットや、6ヶ所のファスナーの開閉、エクステンションパネルの活用で、様々なスタイルが楽しめます。

⚠注意

- スタイルアレンジで、サブポールを高くセッティングした場合、メインポールとのポール高低差が減り、雨水が溜まる危険性があります。
天候状況を良く把握した上、設営してください。
- 開口部を大きく設営した場合、風向によっては、本体が風を強く受けて倒れたりする危険性があります。
風向・天候状況を良く把握した上、設営してください。

撥水・防水性能について

- ☐ 本製品はいずれの生地にも高性能の撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能（撥水の仕方や耐久性）に若干の差が見られる場合があります。
- ☐ 防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
- ☐ 農薬などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合がございます。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- ☐ 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合がございます。

紫外線の影響について

- ☐ 本製品にはフライシートの生地にはUV カット加工を施しています。UV カット加工は、人体にとって有害な紫外線の透過を抑えると共に、生地強度劣化を緩和します。
*UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。

メンテナンス・保管

- ☐ 本製品は生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。
また、濡れたままの保管は避けてください。
- ☐ 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ☐ 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書を良くお読みください。
- ☐ ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。
- ☐ 次回の使用に備え、ペグなどの付属品も含め、十分に保守、点検をしてください。
- ☐ シームテープはPUコーティングが傷まない程度の温度設定で圧着されていますが使用を重ねるにしたがい剥離してしまう場合がございます。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合生地が変質したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングがいっしょに剥離された場合修理できなくなる可能性があります。
- ☐ 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。

こんなときは

Q：キャンプ場で本体生地が破れてしまったり、穴があいてしまったとき

A：傷が広がらない為にも、速やかにガムテープなどで両面から貼り合わせるか、市販のリペアキットなどで補修してください。市販のリペアキットご使用の際は、リペアキットの注意書きをよくお読みください。

Q：撥水が衰えてきたとき

A：撥水加工は、ご使用を重ねますと撥水機能が低下します。撥水が低下してきた場所に撥水スプレーなどを使用してください。スプレーご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。

Q：生地にカビが発生したとき

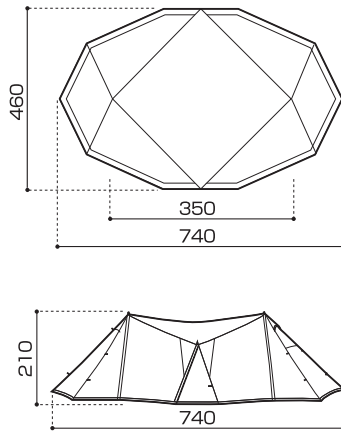
A：カビの発生箇所を乾拭きし、アルコールで滅菌処理してください。カビにより生地が着色された場合、取り除くことはできません。無理な除去作業は生地やコーティング劣化の原因となりますのでお避けください。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社にご相談ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理、交換の判断は、弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は保証・修理できない場合もありますので、予めご了承ください。

1. 取扱説明書に従わなかったと判断した場合。
2. 素材の経年劣化による製品の寿命。
3. 改造及び粗雑な扱いによる製品の故障。
4. 不測の事故による製品の故障。
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
6. ゴミやサビによる故障。
7. 分解したことによる不具合の発生または破損。
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
9. 消耗品の劣化、破損、故障及び付随する不具合。
10. 他社製品との組合せによる故障。

ランドステーション Pro.M



〈室内寸法〉

単位cm

スペック

TP-805 ランドステーション Pro.M

●材質

210Dポリエステルリップストップ・遮光ビグメントPUコーティング耐水圧3,000mmミニマム・テフロン撥水加工・エ・UVカット加工

●収納ケースサイズ W76×D28×H33cm

●重量 11kg

●カラー グレー

※ご不明な点やお気づきの点がございましたら、販売店又は弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。

スノーピーク ユーザーサービス係

受付時間：午前9:00～午後5:00 ☎ 0120-010-660

E-Mail : userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456
tel:0256-46-5858 fax:0256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

MADE IN CHINA